(1)

ことを期待 流が深まる

たい



植えなど、

面的に再開 農作業を全 同様に春の

ナ禍以前と

なおコロ

畔塗りや田

ました。

当日は打って変わり秋晴れ のため翌日に延期。しかし、 予定していましたが、 加しました。 バーなど、総勢百十人が参 オーナーや保全委員会メン ため参加者を制限してい 開催されました。 田んぼ」で、九月二 (日) に稲刈りイ 過去二年間はコロナ禍 当初は二十四日 今年は県内外の棚 ベント 十五 が \exists

代

刈り、 した。 金色に実った稲を一束ずつ

参加したオー はざ掛けも体験しま ナーは、

のさわやかな中、保全委員

と語ってい ら楽しみ」 るのが今か 宅に送られ 十一月に自 し、「収穫 刈りに感動 しぶりの稲 したコメが

日本棚田百選の 「よこね

第325号

発 行 公 民 員 印 刷 龍共印刷株式会社

令和4年10月末日現在 717名(-6) 797名(-2) 1,514名(-8) 男女

型コロナの感染状況悪化に 団体が上演した。 飯田市公民館の二会場で八 が開催された。山本公民館、 校人形劇の祭典二〇二二 より直前で中止となったた た「人形劇フェスタ」は新 今年八月に開催予定だっ

すび座さんは人形の動きを らら」は「うらしま太郎」 ポの良さ、 竜東中学校人形劇部「き ストーリーとテン 竜宮城や人形な ィの高さに、



八人がまとまった発表 人形劇部長

まりとても良い発表をする り良い公演にする為八人の 味わうことができて良かっ 回より八人の気持ちがまと 知恵をしぼり意見を出し合 大変さ、楽しさ、大切さを 度目の発表ということで前 い考えてきました。今回一 発表自体が少ない中、 公演の



第二十三回 よこね田んぼ案山子 「まだまだ青春 智さん 各部門のトップ賞 チ部門 お気に入り部門「一輪車フ



コン テスト

目標に練習に取り組んでき き、本当にありがとうござ でいただき、部員にとって さる方を笑顔にすることを 皆元気をもらいました。こ た。子どもたちの笑い声に、 ました。多くの方に楽しん のような会を開いていただ も大きな励みになりまし **「スマイルチャージ」** 人形劇部では、見てくだ 育園にて行いました。 (横山ひよりさん)

な体験ばかりな 都会の人にとって たり前に行っている事が、 じ、私達にとって 普段、千代保育園では当 代の良さを感じ のだと感 は魅力的 る良い機 も改めて

傾山ひよりさん)が「民八月、神奈川県の大学生 千代保育園民泊何きアルバ 724

泊付きアルバイト」に来て

事から、第一回目を千代保 おり、千代は民泊が盛んな 保育体験型保育人材確保事 は信州山保育認定を受けて 業」の一環で、千代保育園 飯田市の新規事業「自然

が裏山を自分の足で這い

けたそうです。

一がって行く姿に

衝撃を受

思いを聞いたり、 きたようです。 意義な時間を過ご ングをしたり、 宅に泊まり、 ん宅、後半は太田農園さん 宿泊は前半は萩 緒にクッキ す事がで 域の人の とても有 元文雄さ

力を実感しました。都会で を肌で感じる事ができまし 然の中で遊べる素晴らしさ はできない体験ば 地域の方々の姿から、地域 楽しむ姿や、 た。子どもも大人も全力で 横山さんからは、「大自 それを見守る ただきま かりでし

肉をきめ細かな白い粉が覆 上品な甘味があるのが特 すく、鮮やかなあめ色の果 い、もっちりとした食感と 干し柿は一口大で食べや

てしだいに普及していきま

した。

徴。 高級和菓子にも位置づけら フルーツであると同時に、 自然の甘さをもつドライ

れています。

加工技術試験研究を繰り返 選定、優良母樹指定、干柿 品目に取り上げ、優良系統 全国に名だたる特産品とな し、果樹栽培の一環として 一九五二年長野県が奨励



晩の冷え込みが厳しくなっ 日増しに秋が深まり、

穫を迎えます。 になるころ「市田柿」は収 てきました。 山々や庭先の木々が緋色

年以上といわれています。 れた「柿のれん」は、紅葉 田柿の栽培の歴史は、五百 皆さんも、知っている市 農家できれいに皮むきさ

の景観にいっそうの美しさ

いて甘くして食べられていがあり、その名のとおり焼 町に「焼柿」と称した原木 を添えます。 市田村、現・下伊那郡高森 江戸時代後期、当時の下

ました。

中心に渋柿への接木によっ をしたのが始まりです。 知られ、大正時代農家たち べても美味しいことが広く が「市田柿」と称して出荷 それから、天竜川沿岸を その「焼柿」が干して食

十代保育園

場で千代保育園の運動会が 十月八日 (土)、山村広

行われました。 達と体を動かす楽しさを味 ら年長児までが、戸外で友 空となった当日、 未満児は保護者と参加。 前日の雨が嘘のように青 未満児か

の胸まで思い切り走ったか 歓声を挙げていました。 けっこ・玉入れ・綱引き・ 母との種目を楽しんだ子供 タイム」では保護者や祖父 ら沢山の拍手をもらってい 登り・鉄棒に挑戦し観客か ナゴを給食先生に調理して たち。ゴールで待つ保護者 ました。また「ファミリー 護者に抱かれ笑顔も見えま もらい食べた経験を元にし よこね田んぼで捕まえたイ レンジタイム」で竹馬や竹 した。三歳以上児は「チャ た母子の種目などで大きな

う

ぼ

ん

たうまん 千代小学校 どうか _ 年 い の

がんばりたいです。 した。いっぱいたまをいれ がかちました。らいねんも ることができて、 ごをねらってたまをなげま れをがんばりました。か うんどうかいでは、たま しろぐみ 愛華

か

運 動

峡公園周辺で、天龍峡マル

十月二十三日(日)

天龍

シェが開かれた。

マルシェの名前のとお

様々な種類の出店が立

なっていた。

千栄小学校 六年

奏志郎

ばやし」心地よい太鼓の音

よる和太鼓演奏「千代豊稔

最後は年長児と職員、

運動会でぼくは、練習の

かな。」と思いながらや クです。前日まではできて 時にできなかったことがで きました。 なくて、 一つ目は、一輪車のバッ 「今日もできる

> 車場から天竜峡駅前まで)、 エリア(かわらんべ横の駐 心の食べ物の出店をフード ち並んだ。テイクアウト中

そして自作の物を売る出店

のクラフトエリア(姑射橋

から天龍峡温泉ごゆっくり



千代小学校三年生

ファイル№008

ちゃのおかげで、夏には の時から、法全寺の関口兼 練習でつかれた時に食べる んなって、勉強や運動会の 話のこと、他にもたくさん キュウリやトマトがたくさ 教えてくれました。かね の種まきのこと、野菜の世 がいもの種類のこと、大根 善さん(かねちゃ)と一緒 います。かねちゃは、じゃ に学校の畑で野菜を育て ぼく・私たちは、一年生

当に行けたのでうれしかっ ていました。でも二つ目の たです。 と思いながらやったら、本 コーナーまで行ったとき に、「あと少しでゴールだ。」

です。ぼくは、みんなでス 二つ目はスローガン発表 ーガン発表の言葉を考え

たです。



昭和五十七年「何とかしな

千代の過疎化が始まった

だ。「誰かがやっ

てくれる

洋さんはまさに

千代の宝 ある。圭

の千代の発展が

圭洋さんの偉業

により今

きゃ。」と、青少年グルー

るんだ。」と、熱

く語って

令和四年度二十歳の集

んじゃない。自分たちがや

〇一月八日 (日)

くれた。今は執筆

活動に励

んでいる。

勉強会を開き積極的に地域

プ「法山同志会」を結成。



想計画」の編集長として千

代の発展に貢献してきた。 十代診療所が医師不足の危

> 公民館活動 長野県公民館運 令和4年度

推進功労

者表彰

洋嘉平一

圭洋さん

部長の時に山村広場を作る づくりを行ってきた。体育

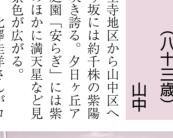
計画を進め、「千代基本構

圭 洋さん

ことができました。ポップ

陽花のほかに満天星など見 事な景色が広がる。 グリ庭園「安らぎ」には紫 花が咲き誇る。夕日ヶ丘ア 向かう坂には約千株の紫陽 法全寺地区から山中区へ

りにできたのでうれしかっ 番もしっかり練習したとお ツコツと作った庭だ。 一中 北澤圭洋さんがコ



えるか心配でした。それで も、しっかり紙を見て何度

た時、覚えて間違えずに言



が出てくるようになり、本 も練習したら、自然と言葉



リア内が歩行者天国となっ 辺りまで)と二分し、 全エ



く姿が多く見られ、 天龍峡





第十八回 長野県公民館運営協議会 フォトコン テスト

賞が贈られました。 トコンテストにて、 らえた写真に送られるフォ 公民館活動の様子をと 最優秀 おめで

(法全寺) 川手 ふみゑ

カ ヱ 母(毛呂窪) 母(毛呂窪 九十四才 八十九才



○かなしみ

療所が復活したこ

とは記憶 今年、診

も市に働きかけ

に新しい。

〇一月三日 (火) 〇十二月十八日 (日) 書き初め教室 ちよっ子クラブファミ リーデイ(事前申込)

〇一月二十二日 (日) ○二月五日(日) 第八回囲碁ボール大会 ふるさと新年講演会

※予定は十一月十六日時点 場合があります。 の内容です。変更となる

宮協議会

戸籍の窓

○お誕生 理貴·恵里花 長男 (毛呂窪)

